

平成29年度 事業計画

我が国の平成29年度予算は、経済再生と財政健全化の両立をめざし、過去最大規模となりました。この予算を梃子に誰もが活躍できる1億総活躍社会を実現し、成長と分配の好循環を図り、日本経済の成長に直結する人工知能、ロボット、IOTなどの科学技術の振興による企業への支援の拡充、第4次産業革命の推進、さらには成長分野への公共事業の投入などが盛り込まれたことは時宜を得たものであります。

また、地方創生について、切り札となるインバウンド拡大に向けた受入体制整備や広域観光周遊ルートの形成等を通じた観光振興、農林水産業の成長産業化に向けた輸出力強化や高付加価値化などが盛り込まれたことは産業界にとっては心強い予算となりました。

なお、先行きのリスクとしては、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があります。特に、世界の指導者が変わり、新たな秩序が構築される本年は多くの変化が予測され、経済界にとっても一喜一憂する局面が多発すると思われれます。

地域経済を「成長戦略」の軌道に乗せるためにも「たからづか経済活性化プラン」で示した5つの方向性に即して地域の実情にあわせた経済活動を地道に推進することが肝要であり、特に平成29年度は、地場産業の振興と新名神高速道路の供用開始に伴う観光振興に力点をおき事業を展開してまいります。

<「たからづか活性化プラン」5つの方向性>

1. 総合経済団体としての基盤強化と課題を解決する商工会議所
2. 地域特性や強みを活かした意欲のある事業者への支援、創業（第二創業を含む）支援・イノベーションへの取り組みの支援
3. 歌劇をはじめ豊かな自然、神社・仏閣、花卉・植木など地域特性を活かした観光産業の活性化
4. ものづくり企業の維持発展と宝塚に適した産業の立地促進
5. まちづくり、にぎわいづくりに係る商業団体等への取り組み支援

1. 「だいすき宝塚」の推進と地域特性を活かした商工業の振興対策

(1) <重点事業> ワンコイン de スタンプラリー2017⁺

～ 継続

会員や市民（消費者）からの本事業の継続や発展的な展開を希望する声に応え、今年度は新企画をプラスし、さらにブラッシュアップ、消費を喚起し「お買い物は宝塚で」運動を強力に推進する。

(2) <重点事業> 異業種交流活性化支援事業

①「木接太夫」のブランド化と宝塚山本地区活性化プラン

～ 新規

宝塚市の名誉市民に認定された「木接太夫」のロゴマーク作成と商標登録、酒・洋菓子等のブランド商品開発による新たな土産物の販売を通し、山本地区の植木産業のPRと地域の魅力アップ、地域の活性化に繋げていく。

②宝塚西谷産エディブルフラワーをつかった新商品開発

～ 継続

食用ダリア等の栽培・加工・適性検査を経て、スイーツ・ピクルス・手づくり石鹸等の試作品づくりを実施し、ダリア他を使った地域活性化をめざす。

(3) <重点事業> 今年度末供用開始予定の新名神高速道路に係るSA・SIの活用

宝塚ブランド「モノ・コト・バ 宝塚」選定商品等のSAへの設置をめざすとともに、市内商業・観光・植木産業振興のためイベント等企画提案する。また、SI周辺の道路問題、新たな課題他解決に向けた取り組みを支援・協力する。

(4) 観光の振興と地場産業の振興

多くの観光客に定着しているイメージに応える「観光」と、良い意味で期待を裏切る「観光」、それぞれを両立させることが課題。個性豊かな地域資源の発掘や活用を目的とする「モノ・コト・バ」選定事業と連携し、観光の振興と地場産業の振興を支援する。

(5) 農商工連携と6次産業の振興

西谷地域の生産物の加工・販売等ビジネスマッチングや販路拡大に向けた取り組みを支援する。

(6) <重点事業> 阪神間4商工会議所会員大交流会（本年度幹事会議所）

～ 新規

今年度は伝統文化に育まれた地場産業に着目し「伝統産業振興事業&大交流会」として実施する。阪神間4商工会議所のガイドマップの作成、伝統産業の発表会、大交流会を開催するが、当会議所からは1,000年近く続く植木産業を紹介する予定。

2. 会議所の運営ならびに会議所体制の確立

(1) <重点事業> 会員増強

～ 継続

地域創生の根幹は強い地域経済を構築すること、そして地域全体が未来に希望を持ち浮揚感を共有することである。そのような状況を実現するために、一人でも一社でも仲間に加わっていただき、知恵と力を結集し、役職員皆で協力し「新しい価値を生み出す」ために積極的に会員増強に取り組む。

(2) 会議所体制の確立

- ①委員会・部会活動の充実と諸施策への反映
- ②青年部・女性会の組織強化と事業の育成・支援
- ③特定商工業者法定台帳の管理運用
- ④技能向上対策
 - ア 各種検定試験の実施
珠算、簿記、日商P C、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、ビジネス実務法務、環境社会検定（eco 検定）、ビジネスマネジャー
 - イ 講習会の開催（パソコン教室他）
市内事業所及び市民のI T情報化・資格取得等の支援または各種検定事業の普及及び研鑽を目的にパソコン教室を継続する。
- ⑤各種共済事業の取り組み
 - ア 各種共済の普及と加入促進
ほほえみ共済、特定退職金共済、県火災共済、P L保険、団体自動車保険、休業補償プラン、業務災害プラン、自動車事故費用共済、個人情報漏えい賠償責任保険、超ビジネスプロテクト等への加入促進
 - イ その他共済制度の普及に対する調査・研究
- ⑥福利厚生並びに文化事業対策
 - ア 健康診断受診支援事業の実施
 - イ 会員交流ゴルフコンペ、会員交流ボウリング大会等の実施
- ⑦栄典並びに会員相互の親睦対策
 - ア 表彰
会員企業特別表彰、役員・議員表彰、永年経営功労者表彰、会員企業周年表彰の実施と叙勲・褒章をはじめとした各種表彰への推薦
 - イ 宝塚市新年互礼会
- ⑧事務局体制の改善

(3) 積極的な意見・要望活動の強化

商工業の健全な発達を促す環境改善のため、国・県・市等関係機関に対する積極的な意見・要望活動を実施し、懇談会等を通じて実現をめざす。
組織内においては、部会活動の充実を図り、積極的に意見集約に努める。

(4) 広報・広聴活動の強化

市民に顔が見える商工会議所づくりのため所報、ホームページの充実に努めるとともに、施策普及パンフレット等各種刊行物の発行により広報の強化に取り組む。

(5) 関係機関との連携強化

- ①地方創生の加速化のため、近畿経済産業局・兵庫県・宝塚市との連携をより強化する。
- ②日本商工会議所・関西商工会議所連合会・兵庫県商工会議所連合会との連携強化は

もとより、宝塚・尼崎・伊丹・西宮の阪神間4商工会議所における施策情報の交換や共同事業の実施により連携を強化する。

- ③「宝塚市・池田泉州銀行・宝塚商工会議所産業振興連携協定」に基づく地元企業の支援に取り組む。

(6) 調査・研究活動

- ①各種調査・研究活動の強化
 - ア. 日本商工会議所L O B O調査（早期景気観測調査）への参加と活用
 - イ. 会員ニーズの調査
 - ウ. 宝塚産業振興における調査研究
 - エ. 環境問題や廃棄物の処理に関する調査・研究
- ②商工関係図書の充実と利用並びに各種統計資料の収集
- ③業務受託等収益事業の調査・研究

(7) 商工会議所会館の管理・運営

会館の貸会議室の利用促進と会館施設の維持管理

(8) 国際交流事業と貿易振興対策

- ①国際交流事業への参加と斡旋
- ②貿易関係諸証明の発給

3. 小規模事業者・中小企業等に対する経営支援

(1) <重点事業> 小規模事業者・中小企業の経営基盤の確立 ～継続

認定支援機関として機能を充実し、経済社会構造の変革に備えた各種制度の活用を促進支援する。革新的ものづくり・商業サービス経営力向上支援、創業・起業支援、第二創業支援、販路開拓など、中小企業の新商品開発や経営合理化並びに設備近代化、生産性向上の促進について支援する。さらに、国・県・市の各種補助金・制度融資を活用した経営相談の実施と小規模企業等経営改善資金融資の斡旋を強力に推進する。特に小規模事業者を応援する小規模事業者持続化補助金は、説明会の開催や経営指導員・経営支援員の指導のもと、計画策定から事後指導まで伴走型の支援を実施する。

(2) <重点事業> 創業・起業支援（地域ビジネス創出支援事業等） ～継続

創業を考えている人を対象とした創業セミナーを4日間開催する。経営、財務、人材育成、販路開拓など起業・経営に必要な知識を習得し、また既に起業した人との交流の場も設け、ビジネスプランのブラッシュアップを支援する。シリーズ開催前には、漠然と起業に関心を持つ人を対象としたプレセミナーを2日間開催し、起業をめざす人の数の底上げを図る。

また、宝塚市男女共同参画センター・エルとの共催で女性起業家向けセミナーの開催とフォローアップ支援を実施する。

(3) <重点事業> 相談指導体制の充実

①窓口相談の充実

- ア. 経営指導員による小規模事業者の経営相談並びに支援
(金融、税務、経営、労務、経理、記帳指導、消費税対策 等)
- イ. 地域プラットフォーム関係各機関との連携
(専門相談員の派遣・企業診断・経営指導の斡旋)
- ウ. 兵庫県よろず支援拠点との連携
(総合的・先進的アドバイス、チーム支援、ワンストップサービス)

②巡回相談の充実

- ア. 経営指導員・経営支援員による担当地区の企業及び団体への経営支援の強化
- イ. 巡回記帳継続指導

(4) 商業の振興

商業部会会員への施策普及と部会員間の交流促進、各個店の魅力の創出を目的に「ワンコイン de スタンプラリー」への積極的な参加を推進する等「にぎわいのある商店街づくり」の実現に向け支援する。また、個々の事業所の連携により部会内の会員増強を推進し、商業活性化へと繋げていく。

(5) 工業の振興

工業部会会員への施策普及や市内工業事業者が共通に抱える課題を解決すべく、積極的に情報交換等を行い、操業環境の改善や懸案である住工混在の解消に向けて調査研究をし、真に効果のある工業振興に資する事業を展開する。

(6) <重点事業> 雇用対策事業の推進

①労働環境対策事業の推進

～ 新規

市内事業所が抱えている人材育成の課題に対し、本事業を通じて新入社員・若手社員等の教育を行い、事業所全体のベースアップを図り、企業の発展に貢献する事業に取り組む。

②商工優秀・優良従業員表彰の実施

③宝塚市雇用促進連絡協議会や宝塚市自立支援協議会へ参画、企業の雇用対策における種々の施策やセミナー等情報提供を行う。